

令和7年度



# 桂林小だより

令和7年6月12日  
第3号  
校長 加藤慶一

音楽大パレード 天候不良で残念  
けれども、心から願い、自分たちで行動した  
**リベンジツアー 大成功！！**



五月二十六日、六年生の代表三名が校長室の扉をノックした瞬間から始まつた「リベンジツアーリー」。「校長先生、やらせてください！」と、五年生とも心を一つにし、進めてきました。

城内新町公民館 ↓ 明林堂駐車場 ↓ 月隈公園 ↓ 豆田上町。ポケットパーク ↓ 日田天領の里元氣の駅 ↓ 桂林公民館 ↓ 日田駅前広場の全部で七か所を巡る弾丸ツアーリーでした。どの会場でも百人を超えるおうちの方々や地域の方々、卒業生やそのほか日田市民の皆さまが待つていてくださいました。

割れんばかりの拍手に「がんばれ！」の声援、そして手拍子・・・。胸が熱くなりました。子どもたちは、こんなにいっぱい愛されてる、あたたかく支えられていると、心から感じました。

自ら扉を開いた子どもたち、よくやり遂げました。自信としてください。

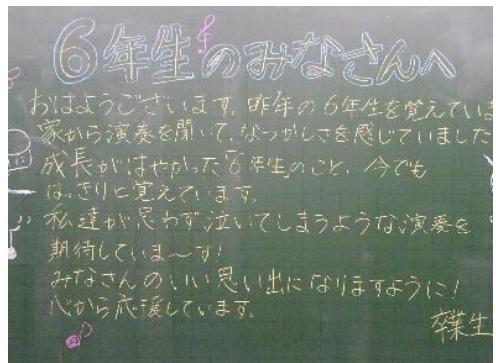
◎ツアーリー実現のために地域や施設・商店などのたくさんの方々が協力してくださいました。本当にありがとうございました。

## 【問い合わせ先】

日田市立桂林小学校  
(一九七三) 二四一六〇八二



## スクールガードさん いつもありがとうございます 今年もよろしくお願ひします



6年生の教室に書かれたメッセージ。込められた気持ちがグッときます。

観光祭音楽大パレード前日の五月二十三日の夕方、六年一組と五年一組と五年二組の教室の黒板に、卒業生がエールのメッセージを書いてくれていました。

「おはようございます。昨年の六年生を覚えてますか。家から演奏を聞いて、なつかしさを感じてました。成長がはやかった「六年生」のこと、今ではつきり覚えてます。私たちが思わず泣いてしまうような演奏を期待してます。みんなのいい思い出になりますよ! 心から応援しています。」

何も言うことがありません。素晴らしいですね。先輩と後輩、心が繋がっています。桂林小の素敵などころをまた一つ見つけました。子どもたちつて、すごい!



懇談会では、今後指導に役立てるべきこと、今でもはつきり覚えていました。卒業生がエールのメッセージを書いてくれました。

・高学年になるとあいさつの後に、「いつもありがとうございます」と付けくわえられてすごいね。

・横断歩道を渡った後に信号のボタンを押すのは止めてね。ドライバーが進まなくて困るよ。

愛情あふれる言葉やユーモアを交えたお話をなどしてくださいました。子どもたちもうれしそうでした。

六月四日、今年度もスクールガードの皆さまとの対面式と懇談会を開きました。体育館で行われた対面式では、スクールガードの皆さん一人ひとりから子どもたちに向けて一言ずつお話をありました。

・みんなが「おはようございます」と言つてくれることで、毎朝元気をもらっているよ。



## 第一回 代表委員会 開催

桂林小学校では、児童が主体的に活動できる場を充実させ、「自ら考え行動する」「問題に気付き、解決しようとする」「生活向上させようとする」ような様々な活動を考えています。その一つに「代表委員会」があります。

この活動は、自分たちの学校生活をより良くするために自分たちで考え、話し合っていくものであります。各学級代表の児童二名ずつと各委員会の委員長、一、二年部学級担任で話し合いを行います。六月三日に行われた第一回代表委員会では、次の二点について話し合われました。

①児童会スローガンについて  
②桂林フェスティバルについて

具体的な案が事前に運営委員会から提示され、各学級での話し合いの結果を代表の子どもたちが持ち寄りました。どの学級もよく話し合われており、しつかりと意見を発表できていました。意見に理由がきちんとつけられていたこと、高学年からは「もつとこうするといいのではないか」などの意見が出されていました。

決定を受けて各学級で準備を進めている「桂林フェスティバル」は、六月十六日のオープンスクールでおうちの方々や地域の方々にも見ていたります。